

第二百四十二條 自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニ屬シ又ハ公務所ノ命ニ因リ他人ノ看守シタルモノナルトキハ本章ノ罪ニ付テハ他人ノ財物ト看做ス

獨

第二八九條

自己又ハ他人ノ利益ノ爲メ其所有スル動産ヲ用益者質權者又ハ其物件ニ付キ使用權若クハ留置權ヲ有スル者ヨリ權利ヲ害スル意ヲ以テ奪取シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ九百馬克以下ノ罰金ニ處ス禁錮ニ處スルトキハ公權ヲ剝奪スルコトヲ得

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

本條ハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第二四七條第二項第三項ノ規定ハ之ヲ本條ニ適用ス

第二百四十三條

第二三五條第二三六條、第二三八條乃至第二四一條ノ未遂罪ハ

之ヲ罰ス

獨

第二八九條第二項

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

白

第四六六條

前數條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ八日以上三年以下ノ入獄ニ處シ二十六法以上三百法以下ノ罰金ニ處ス

第四七六條

意外ノ狀況ニ因リ竊盜又ハ強盜ヲ遂ケサルモ第四七三條及ヒ第四七四條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其本刑ニ處ス

第二百四十四條

直系血族、配偶者及ヒ同居ノ親族又ハ家族ノ間ニ於テ第二三五

條ノ罪及ヒ其未遂罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルト

キハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

獨

第二四七條

親族、後見人、教育者ニ對シ竊盜若クハ横領ノ罪ヲ犯シタルトキ及ヒ徒弟其主人ニ對シ又ハ家内ノ僕婢其雇主ニ對シ些少ノ價格ヲ有スル物件ヲ竊取若クハ横領シタルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但告訴ハ之ヲ取下クルコトヲ得

尊屬親其卑屬親ニ對シ又ハ配偶者ノ一方カ他方ニ對シ犯シタル竊盜若クハ横領ノ罪ハ之ヲ罰セス

本條ニ掲ケタル關係ヲ有セサル共犯者又ハ犯罪庇護者ニハ本條ノ規定ヲ適用セス

佛

第三八〇條

夫ノ其婦ノ物ヲ盜ミ又ハ婦ノ其夫ノ物ヲ盜ミ又ハ寡夫若クハ寡婦其死亡シタル配偶者ノ物ヲ盜ミ又ハ子及ヒ卑屬親其父母及ヒ尊屬親其子及ヒ卑屬親ノ物ヲ盜ミ又ハ同上級ノ姻屬親互ニ相盜ムトキハ損害ノ賠償ヲ爲ス可キノミトス

其他ノ者其贓物ノ全部又ハ一部ヲ隱匿シ又ハ自己ノ利益ト爲シタルトキハ盜罪ノ刑ニ處ス

英

一、夫其妻ノ財物ヲ竊取シ擅ニ私用スト雖モ法律ニ於テ夫婦ハ一人ト看做シ盜罪ヲ以テ之ヲ論スルコトヲ得ス

埃

第一八九條 其他竊盜若クハ監守盜、其共犯ノ遺式罪ト爲ス可キモノ及ヒ夫婦間親子兄弟等一家同

第二編罪 第三十六章 竊盜及ヒ強盜ノ罪

族間ニ於テ竊盜ヲ爲シタルモノヲ違式罪トシテ論ス可キ條例ハ本法第二編中(第四六三條)ニ掲ク
第四六三條 夫婦間親子兄弟同居共通ノ活計ヲ營ム者竊盜若クハ監守盜ヲ相犯ストキハ唯其家長ノ
告訴ニ依テノミ第四六〇條ノ規則ニ準據シ處刑ス

伊

第四三三條 本章第一節第三節第四節第五節及ヒ第四四四條第一項、第四二六條、第四二九條ノ行
爲ニ付テハ左ニ記載シタル者ニ對シ其罪ヲ犯シタルトキニ非サレハ之ヲ論セス

- 一、法律上別居セサル配偶者
- 二、尊屬親若クハ卑屬親ノ血統ニ於ケル親屬又ハ姻屬養父母若クハ養子女
- 三、家内ニ同居スル兄弟姉妹

法律上別居シタル配偶者若クハ犯人ト家内ニ同居セサル兄弟姉妹又ハ他人ト同居スル第二級ノ叔

伯甥姪其他ニ對シ此罪ヲ犯シタルトキハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論シ本刑三分ノ一ヲ減ス

白

第四六二條 夫婦相盜ミ又ハ夫其亡妻ノ物ヲ盜ミ又ハ妻其亡夫ノ物ヲ盜ミ又ハ尊屬親卑屬親相盜ミ

又ハ以上同級ノ親族相盜ム者ハ唯損害ノ賠償ヲ爲サシム可キノミトス

外人ニシテ前項ノ盜取ニ干與シタル者又ハ其物件ヲ藏匿シタル者ハ常律ニ依テ之ヲ論ス

蘭

第三一六條第二項 本條ノ犯人別居又ハ財産分離ヲ爲シタル配偶者ナルカ又ハ直系傍系ノ二親等ノ

親族若クハ姻族ナルトキハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

那

第二六五條 親族ニ對スル橫領盜及ヒ竊盜ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

同一ノ家族又ハ行爲者ヲ使役スル者ニ對スル橫領盜又ハ單純竊盜ト雖モ一個又ハ數個ノ罪ニ依リ

領得シタル物件ノ價格二十「クローン」ヲ超エサルトキ亦同シ

數人共同シテ罪ヲ犯シタル場合ニ於テ前條ノ規定ニ遵由シ行爲者中ノ一人ニ對シテノミ公ノ訴ヲ
爲シ得可キトキハ起訴應ハ訴追ハ之ヲ一部ノミニ對シテ爲ス可キヤ全部ニ對シテ爲ス可キヤ又ハ
全部ニ對シテ爲ササル可キカヲ裁判ス此罪ニ關スル贓物隱匿ハ此點ニ付キテハ之ヲ協力ト看做ス

第二百四十五條 本章ノ罪ニ付テハ電氣ハ之ヲ財物ト看做ス

第三十七章 詐欺及ヒ恐喝ノ罪

第二百四十六條 人ヲ欺罔シテ財物ヲ騙取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦

同シ

獨 第二六三條 自己又ハ第三者ニ對シ不正ニ財産上ノ利益ヲ得セシムル爲メ他人ヲ欺罔シ又ハ事實ヲ

變改シ、隱蔽シテ錯誤ヲ誘起又ハ増進セシメ因テ他人ノ財産ニ對シ損害ヲ加ヘタル者ハ詐欺ノ罪
ト爲シ禁錮ニ處ス仍ホ三千馬克以下ノ罰金ヲ附加シ及公權ヲ剝奪スルコトヲ得
減輕ス可キ情狀アルトキハ唯罰金ニ處ス

第二編罪 第三十七章 詐欺及ヒ恐喝ノ罪

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス
親族、後見人、教育者ニ對シ詐欺ノ罪ヲ犯シタル者ハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但告訴ハ之ヲ取下クル
コトヲ得

佛

第四〇五條 氏名身分ヲ詐稱シ又ハ虛偽ノ起作、無實ノ威權、虛偽ノ信據ヲ人ニ證示スル爲メ偽計ヲ
用ヒ又ハ人ヲシテ無實ノ成功及ヒ無根ノ事故ヲ希望セシメ又ハ畏怖セシムル爲メ偽計ヲ用ヒテ人
ノ所有スル金錢、動産債務ノ證書、契約書、手形、約定書算還ノ證書ヲ交付セシメ又ハ交付セシメ
ントシ且其偽計ヲ以テ人ノ産業ノ全部又ハ一部ヲ奪ヒ又ハ奪ハントシタル者ハ一年以上五年以下
ノ禁錮ニ處シ五十法以上三千法以下ノ罰金ヲ附加ス

仍ホ其刑ヲ受ケタル日ヨリ五年以上十年以下ノ期間第四二條ニ記載シタル權利ヲ行フコトヲ禁ス
ルコトヲ得但此規則ト其犯人ニ偽造變造ノ重罪アルトキ更ニ重キ刑ニ處ス可キ規則ト相抵觸スル
コトナシ

第四二三條 金銀ノ性質眞物ナリト云ヒ販賣シタル偽造石類其他諸般ノ商品ノ性質ニ付キ買主ヲ欺
罔シタル者又ハ偽造シタル度量ノ具ヲ用ヒテ販賣ヲ爲ス物品ノ分量ヲ偽リタル者ハ三月以上一年
以下ノ禁錮ニ處シ且損失償還高ノ四分ノ一以下五十法以上ノ罰金ヲ附加ス
此輕罪ニ管シタル物件又ハ其代金仍ホ其賣主ニ屬スルトキハ之ヲ沒收シ且其偽造シタル度量ノ具
モ亦沒收シテ之ヲ破毀ス
裁判所ヨリ指示シタル場所ニ其刑ノ言渡書ヲ貼付シ且ツ其言渡書ノ摘撮書又ハ其全文 裁判所ヨ
リ指示シタル新聞紙ニ掲載ス可キコトヲ言渡シ其費用ヲ犯人ヨリ賠償セシム

填

第一九七條 詐偽ノ計略若クハ行爲ヲ以テ他人ヲ誑惑シ該人ヲシテ(國家若クハ一區又ハ一人)其所
有物ヲ害シ又ハ更ニ他人ノ權利ヲ犯サシムル者又ハ右ノ趣意ヲ狭ミ同上ノ詐術ヲ爲サントスルニ
際シ他人ノ昏迷若クハ不覺ヲ利用シ故意ニ欺罔シタル者ハ詐偽ノ罪トス其之ヲ犯ス動機ハ自己ノ
利益ヨリ出テ又ハ他人ヲ非法ヲ以テ扶助セント欲スル等其他何等ノ意思ヲ以テスルヲ問ハス

第一九八條 詐偽ノ重罪ト爲ルハ行爲ノ性質及ヒ損害ノ多少ニ因ルモノトス

第一九九條 詐偽ハ第一九七條ノ規則ニ從ヒ其行爲ノ性質ニ因リ左ノ場合ニ於テ之ヲ重罪トス

一、自己ノ事ニ關シ訴訟ヲ爲スノ間誓詞ノ偽造ヲ爲サント看守シ又ハ之ヲ爲シ又ハ訴訟ニ用フ
可キ偽證ヲ爲シ縱令該證書中ニ口實トシテ辯解ス可キ事由アリト雖モ之ヲ裁判上ニ使用セシ
メタル者

二、官吏官命若クハ臨時ニ官府ヨリ允許セラレタル特權ナリト偽リタル者

三、職業上ニ使用ス可キ權量檢印ヲ有スルト有セサルニ關セズ不正又ハ小形ノモノヲ使用シタ
ル者

四、公用筆記類又ハ官府ノ表點セル極印押印及ヒ品價印等ヲ偽造シタル者

五、經界ノ標柱ヲ斷除シ又ハ之ヲ遷移シタル者

六、無益ニ金錢ヲ投資シ終ニ償フ能ハサルノ狀ニ至リ又ハ偽計ヲ以テ信用ヲ増サントシ又ハ偽
債主ヲ設ケ其他凡ソ他人ト馴レ合ヒ又ハ財産ノ一部ヲ隱匿シテ其眞量ヲ偽リタル者

第二〇〇條 右ニ記載スル者ノ外詐偽ヲ以テ他人ニ損害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシ其金高二十五「ゲル
デン」以上ニ及フトキハ之ヲ重罪トス

第二編 罪 第三十七章 詐欺及ヒ恐喝ノ罪

第二〇一條 左ニ掲クル者ハ前條ニ記載スル價額ヲ以テ重罪ト爲ス

一、人民私有ノ證書類ヲ偽造シ又ハ其眞物ヲ變造シタル者及ヒ全ク關係ナキカ又ハ其獨權ニ屬セサル證書類ヲ他人ニ損害ヲ與フ可キ爲メ故意ニ滅失、毀損、磨滅シタル者又ハ偽造ノ紙幣若クハ公債證書及ヒ貨幣等其正犯又ハ共犯者トノ協同ニ由ラスト雖モ偽造ナルコトヲ知テ之ヲ流通セシメタル者

二、他人ノ愚暗ナルニ乘シ眩惑若クハ詐術ヲ用ヒテ該人若クハ他人ノ損害ヲ生セシメタル者

三、遺失物又ハ誤テ己ニ歸シタル物ヲ情ヲ知テ隱匿シテ私有ト爲シタル者但本罪ハ自ラ漏出シタル物ハ秘收ト同シカラス

四、不正ノ利益ヲ得又ハ他人ノ財産若クハ權利ヲ害セン爲メ又ハ他人ヲ誑惑シテ其損害トナル可キ行爲ヲ爲サシメンカ爲メ氏名、身分、風志ヲ偽リ又ハ他人ノ財産ヲ自ラ掌領セル如ク裝ヒ其他諸種ノ偽計ヲ用キタル者

第二〇二條 詐僞ノ刑ハ大抵六月以上一年以下ノ徒刑トス特ニ加等ノ情狀アルトキハ一年以上五年以下ニ處ス

第二〇三條、第二〇四條、第二〇五條、第四六一條

伊 第四一三條 白 第四六一條 蘭 第三二〇條、第三二六條、第三二七條、第三二九條乃至第三三三條

那 第二七〇條乃至第二七二條 第二七四條、第二七六條 瑞 第八一條乃至第八三條

第二百四十七條

他人ノ爲メ其事務ヲ處理スル者自己若クハ第三者ノ利益ヲ圖リ

又ハ本人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ其任務ニ背キタル行爲ヲナシ本人ニ財産上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

獨 第二六六條 左ニ掲クル場合ニハ背信ノ罪ト爲シ禁錮ニ處ス仍ホ公權ヲ剝奪スルコトヲ得

一、後見人、財産管理人、財産監督人、供託物保管人、破産管財人、遺言執行者、寄附財産取扱人故意ニ其委託ヲ受ケタル人又ハ物件ニ對シ損害ヲ與フ可キ行爲ヲ爲シタルトキ

二、代理人故意ニ委任者ノ債權其他ノ財産ニ損害ヲ與フ可キ行爲ヲ爲シタルトキ

三、土地測量人、競賣人、仲立人、貨物鑑定人、運送人、秤量人、撰査人、監査人、荷積人其他官廳ニ對シ一定ノ業ヲ爲ス可キ義務アル者其委託セラレタル行爲ヲ爲スニ當リ故意ニ委託者ニ損害ヲ加ヘタルトキ

自己又ハ他人ニ對シ財産上ノ利益ヲ得セシムル爲メ背信ノ罪ヲ犯シタル者ハ禁錮ニ處スル外仍ホ三千馬克以下ノ罰金ヲ附加スルコトヲ得

佛

第四〇七條 人ノ氏名ヲ手署シタル白紙ヲ預リ詐僞ヲ以テ其白紙ニ借入ノ證又ハ算還ノ證ヲ記入シ

又ハ其他其白紙ニ氏名ヲ手署シタル者ノ身體又ハ產業ノ害トナル可キ證ヲ記入シタル者ハ第四〇五條ニ記載シタル刑ニ處ス

那

第二七五條 權限ナキ利得ヲ爲シ又ハ爲サシメ又ハ人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ自身指揮又ハ監視

第二編罪 第三十七章 詐欺及ヒ恐喝ノ罪

ス可キ他人ノ事務ヲ等閑ニ付シ又ハ此點ニ付キ他人ノ不利益ヲ計リタル者ハ金刑又ハ三年以下ノ禁錮ヲ科ス

一千「クローン」以上ノ損害ヲ加ヘタルトキ又ハ罪ヲ隠秘スル爲メ計算書帳簿ニ不當ノ記入ヲ爲シ虚偽ノ文書ヲ作成シ又ハ準備シ若クハ計算書帳簿又ハ其他ノ文書ヲ毀滅廢棄變造又ハ隠匿シタル者ハ六年以下ノ禁錮ニ處スルコトヲ得

誑誘又ハ激勵ニ依リ前項ノ行爲ニ協力シタル者ハ同一ノ刑ニ處ス

第二百四十八條

未成年者ノ知慮淺薄又ハ人ノ心神耗弱ニ乘シテ其財物ヲ交付セ

シメ又ハ財産上不法ノ利益ヲ得若クハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ十年以

下ノ懲役ニ處ス

獨 第三〇一條

利益ヲ得ンカ爲メ幼者ノ知慮淺薄又ハ無經驗ニ乘シ借用證書、手形、受領書、保證書

其他義務ニ關スル證書ヲ交付セシメ又ハ口頭ヲ以テ支拂ヲ約諾セシメタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ千五百馬克以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三〇二條 利益ヲ得ンカ爲メ幼者ノ知慮淺薄又ハ無經驗ニ乘シ他人ノ爲メニスル擔保ノ供與及ヒ

盟約、宣誓又ハ之ニ類スル保證若クハ誓式ニ依リ法律行爲ニ基ク有價物ヲ交付ス可キ義務ノ履行又ハ金額ノ支拂ヲ約諾セシメタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ三千馬克以下ノ罰金ニ處ス

禁錮ニ處スルトキハ公權ヲ剝奪スルコトヲ得前掲ノ方法ニヨリ幼者ニ約諾セシメタル債權ナルノ情ヲ知リ之ヲ讓受ケタル者亦同シ

本條ハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

佛

第四〇六條 幼者ノ窮乏、怯懦、情慾ニ乘シ其損害トナル可キ方法ヲ用ヒ幼者ヲシテ金銀、動産、

商業手形其他ノ手形類ヲ貸借スル義務ノ證書又ハ算還證書ニ其氏名ヲ手署セシメタル者ハ其取引掛合ヲ爲ス方法ノ如何ヲ問ハス又口實ノ如何ヲ問ハス二月以上二年以下ノ禁錮ニ處シ二十五法以上損害賠償金高ノ四分ノ一以下ノ罰金ヲ附加ス仍ホ前條ト次項ニ記載シタル刑ヲ科スルコトヲ得

伊

第四一五條 何人ヲ問ハス自己若クハ他人ノ利益ヲ圖ル爲メ幼者ヲ禁治産者又ハ無能力者ノ窮乏、情

慾、不經驗ニ乘シ裁判上ノ效力ヲ有スル文書ニ署名セシメ因テ其幼者若クハ他人ヲ害シタルトキハ無能力者ノ爲メニ其文書ノ無効ニ歸スルニ拘ラス一年以上五年以下ノ懲役及ヒ三百「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十九條

人ヲ恐喝シテ財物ヲ交付セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處

ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦

同シ

獨 第二五三條

自己又ハ他人ニ對シテ不正ニ財産上ノ利益ヲ得セシムル爲メ暴行又ハ脅迫ヲ以テ人ヲ

シテ或ル事ヲ爲サシメ若クハ爲ササラシメ又ハ之ヲ肯ンセシメタル者ハ強制ノ罪ト爲シ一月以上ノ禁錮ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二編 罪 第三十七章 詐欺及ヒ恐喝ノ罪

第二五四條 謀殺、放火又ハ洪水ノ罪ヲ犯ス可キコトヲ脅迫シテ強制ノ罪ヲ犯シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第二五五條 暴行ヲ加ヘ又ハ現ニ生命、身體ニ危難ヲ加フルコトヲ脅迫シテ強制ノ罪ヲ犯シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

第二五六條 強制ノ罪ニ因リ禁錮ニ處ス可キトキハ公權ヲ剝奪シ強盜又ハ強利ノ罪ニ因リ懲役ニ處スヘキトキハ監視ニ付スルコトヲ得

伊 第四〇九條 何人ヲ問ハス或方法ヲ以テ人ノ身體、名譽、財産ニ重大ナル損害ヲ加ヘントノ恐怖ヲ懷カシメ又ハ官署ノ命令ヲ矯メ人ヲシテ強テ金銀物件若クハ裁判上ノ效力ヲ有スル文書ヲ送致寄託セシメ又ハ己レノ用ニ供セシメタル者ハ二年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

蘭 第三一七條 自己又ハ他人ニ不法ノ利益ヲ獲得セントノ目的ヲ以テ人ニ暴行又ハ暴行ヲ加ヘント脅迫シテ其人又ハ其他ノ人ニ全部若クハ一部ノ所有權アル物件ヲ己ニ交付セシメ若クハ或ル義務ヲ約セシメ又ハ或ル債權ヲ消滅セシメタル者ハ恐喝ノ罪ヲ以テ論シ九年以下ノ禁錮ニ處ス

第三一二條 第二項及ヒ第三項ノ規定ハ本犯ニ之ヲ適用ス

第三一八條 自己又ハ他人ニ不法ノ利益ヲ獲得セントノ目的ヲ以テ誹毀ニ係ル文書又ハ陰私漏告手段ヲ用ヒ人ヲ脅迫シ其人又ハ他ノ人ニ全部若クハ一部ノ所有權アル物件ヲ己ニ交付セシメ若クハ或ル債權ヲ消滅セシメタル者ハ恐喝ノ罪ヲ以テ論シ三年以下ノ禁錮ニ處ス

本犯ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

第三二〇條 本章ニ記載シタル罪ニ付キ裁判官渡アリタルトキハ第二八條第一項乃至第四項ニ記載

シタル權利官職又ハ特定ノ官職ニ任命セララルル權、兵役ニ從事スルノ權、選舉人被選舉人ト爲ルノ權、司法上ノ補佐人又ハ管理人タルノ權、實子以外ノ幼者ノ後見人、後見監督人、管財人又ハ監督管財人ト爲ルノ權ヲ剝奪スルコトヲ得

第二百五十條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

獨 第二六三條 第三項 本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二百五十一條 本章ノ罪ニハ第二四二條、第二四四條及ヒ第二四五條ノ規定ヲ準用ス

獨 第二六三條 第四項 親族後見人教育者ニ對シ詐欺ノ罪ヲ犯シタル者ハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但シ告訴ヲ取テ下クルコトヲ得

伊 第四三三條 本章第一節、第二節、第三節、第四節、第五節、及第四四四條第一項、第四二六條第四二九條ノ行爲ニ付テハ左ニ記載シタル者ニ對シ其罪ヲ犯シタルトキニ非サレハ之ヲ論セス

一、法律上別居セサル配偶者
二、尊屬親若クハ卑屬親ノ血統ニ於ケル親族又ハ姻族、養父母若クハ養子
三、家内同居スル兄弟姊妹
法律上別居シタル配偶者若クハ犯人ト同居セサル兄弟姊妹又ハ犯人ト同居スル第二級ノ叔伯甥姪其他ノ姻族ニ對シ此罪ヲ犯シタルトキハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論シ本刑三分ノ一ヲ減ス

蘭 第三一九條 第三一六條ノ規定(親屬ノ場合ハ親告罪ト爲ス規定)ハ本章ニ掲ケタル罪ニ之ヲ適用ス

第二編 罪 第三十七章 詐欺及ヒ恐喝ノ罪 四〇五

那 第二七九條 親族ニ對シ第二七〇條、第二七一條第一號、第五號、第二七四條、第二七五條及ヒ第二七八條ノ罪ヲ犯シタル者ハ被害者ノ請求ナキトキハ其罪ヲ論セス但第二六五條第三項ハ之ヲ準用ス

第二七〇條、第二七四條、第二七五條及ヒ第二七六條ノ罪ハ被害者ノ請求ナキトキハ何レノ場合ト雖モ之ヲ論セス但犯人公衆ノ信用又ハ輕信ヲ妄用シテ衆人ニ對シ罪責ヲ有スルトキ又ハ其他ノ場合ニ於テ一般ノ福利上追訴ヲ必要トスルトキハ此限ニ在ラス

四〇六

第三十八章 横領ノ罪

第二百五十二條 自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

自己ノ物ト雖モ公務所ヨリ保管ヲ命セラレタル場合ニ於テ之ヲ横領シタル者亦同シ

獨 第二四六條 他人ニ屬スル動産ヲ占有シ又ハ保管スル者不正ニ之ヲ自己ノ所有ト爲シタルトキハ横領ノ罪ト爲シ三年以下ノ禁錮ニ處ス委託ヲ受ケタル物件ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス減輕スヘキ情狀アルトキハ九百馬克以下ノ罰金ニ處スルコトヲ得本條ノ未遂犯ハ之ヲ罰ス

佛 第四〇〇條第三項 負債ノ爲メ自己ノ財産ヲ抵償トシテ差押ヘラレタル者其財産ヲ保管シ其保管中ニ之ヲ滅失若クハ竊取シ又ハ滅失若クハ竊取セントシタルトキハ第四〇六條ニ記載シタル刑ニ處ス

負債ノ抵償トシテ差押ヘラレタル自己ノ財産ヲ他人カ保管シタルトキ其財産ヲ滅失若クハ竊取シ又ハ滅失若クハ竊取セントシタル者ハ第四〇一條ニ記載スル刑ニ處ス
負債者若クハ保證人其質トシテ附與シタル物件ヲ滅失若クハ竊取シ又ハ滅失若クハ竊取セントシタルトキハ亦第四〇一條ニ記載スル刑ニ處ス
竊取シタル物件ヲ故意ニ隱匿シタル者若クハ負債者又ハ保證人其質トシテ附與シタル物件ヲ滅失若クハ竊取シ又ハ滅失若クハ竊取セント爲スヲ幫助シタル配偶者又ハ其尊屬親及ヒ卑屬親ハ其犯人ト同一ノ刑ニ處ス

埃 第一八三條 第一八一條ニ記載シタル罪狀ノ外委任ヲ受ケタル財貨ヲ五十「ゲルデン」以上横領シタル者ハ之ヲ監守盜ノ重罪トス

伊 第二〇三條 何人ヲ問ハス抵償又ハ差押物件ヲ監守ニ委シタル物件ヲ脱漏シ又ハ自己若クハ他人ノ利益ニ供シ又ハ權利者ニ之ヲ交付スルコトヲ拒ミタル者ハ三月以上三十月以下ノ懲役及ヒ三百「リール」以上三千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

其抵償又ハ差押物件ノ所有者自ラ此罪ヲ犯シタルトキハ一年以下ノ懲役及ヒ百「リール」以上千五百「リール」以下ノ罰金ニ處ス懈怠又ハ監守ノ不注意ニ因リ其重罪ヲ犯シタルトキハ五十「リール」以上千「リール」以下ノ罰金ニ處ス
其物件ノ代價微少ナルトキ又ハ犯人ノ審判前其物件又ハ代價ヲ償還シタルトキハ本刑六分ノ一以上三分ノ一以下ヲ減ス

第四一七條 何人ヲ問ハス人ニ返還シ若クハ一定ノ使用ニ充ツルノ義務アル物件ヲ寄託若クハ交付セラルルニ當リ自己若クハ他人ノ利益ニ供スルカ爲メ之ヲ横領シタル者ハ被害者ノ告訴ヲ待テ二

年以下ノ懲役及ヒ百「リール」以上ノ罰金ニ處ス
第四一八條 何人ヲ問ハス返還シ若クハ一定ノ使用ニ充ツルノ義務ヲ以テ寄託セラレタル署名ノ白紙ヲ濫用シ之ニ裁判上ノ效力ヲ有スル契約事項ヲ記入シ若クハ記入セシメ以テ署名者ヲ害シタル者ハ被害者ノ告訴ヲ待テ三月以上三年以下ノ懲役及ヒ三百「リール」以上ノ罰金ニ處ス其署名ノ白紙ニシテ犯人ニ寄託セラレサルモノニ係ルトキハ第六章第三節及ヒ第四節ノ規定ヲ適用ス

第三二一條 他人ニ全部又ハ一部ノ所有權アル物又ハ犯罪外ノ理由ニ依リ己ノ占有スル他人ノ物ヲ不法ニ自己ノ所有ニ歸シタル者ハ横領ノ罪ヲ以テ論シ三年以下ノ禁錮又ハ六十法以下ノ罰金ニ處ス
第三二二條 自己ノ使役スル職業ニ關シテ他人ノ物ヲ占有スル者又ハ謝金外ニ之ヲ占有スル者其物件ニ付キ横領ノ罪ヲ犯シタル者ハ四年以下ノ禁錮ニ處ス

第三二五條 本章ノ罪ニ付キ處刑アリタルトキハ判事ハ其判決ヲ公示セシメ且第二八條第一項乃至第四項ニ記載シタル權利官職又ハ特定ノ官職ニ任命セラルルノ權、兵役ニ從事スルノ權、選舉人ト爲ルノ權、司法上ノ補佐人又ハ管理人タルノ權、自身ノ子以外ノ幼者ノ後見人、後見監督人、管財人又ハ監督管財人タルノ權ヲ剝奪スルコトヲ得本犯自己ノ職業執行中ニ罪ヲ犯シタルトキハ其職業執行ノ權利ヲ剝奪スルコトヲ得

第二五五條 權限ナキ利得ヲ爲シ又ハ爲サシムル意思ヲ以テ其全部又ハ一部他人ニ屬スル動産ヲ領得シ又ハ信託セラレタル動産ノ占有ヲ否認シ又ハ違法ニ之ヲ讓渡又ハ消費シタル者又ハ其協力者

那

ハ横領ノ罪ト爲ス

第二五六條 横領罪ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

犯人情ヲ知テ他人ノ生命又ハ健康ニ對スル危險又ハ他人ノ所有權ヲ重大ニ妨害スル危險ヲ惹起シ又ハ人ノ地位ヲ動搖セシメ又ハ價格一千「クローン」以上ノ物件ヲ横領シタルトキハ六年以下ノ禁錮ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シ又ハ重大ノ身體障害又ハ健康損害ニ致シタルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

横領盜ノ目的物輕微ノ價格ヲ有スルトキ又ハ爾餘ノ特ニ輕減ス可キ事由アルトキハ之ヲ金刑ニ降スコトヲ得

發見物ノ横領罪ハ金刑又ハ六月以下ノ禁錮ニ處ス一個又ハ數個ノ行爲ニ依リ横領シタル物件ノ價格五「クローン」ヲ超ヘサルトキハ違式罪トシテ第三九四條ニ依リ之ヲ處分ス

第二百五十三條 業務上自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領シタル者ハ十年以下ノ懲

役ニ處ス

獨

第二九〇條 質屋營業者權利ナクシテ典物トシテ受取リタル物件ヲ使用シタルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス仍ホ九百馬克以下ノ罰金ヲ附加スルコトヲ得

第二九一條 砲隊演習ノ際使用スル彈藥又ハ軍隊ノ射撃場ノ標的ヲ存セル彈丸ヲ不正ニ領得シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ九百馬克以下ノ罰金ニ處ス

第三五〇條 官吏其職務上受領シ又ハ保管セル金錢其他ノ物件ヲ横領シタルトキハ三月以上ノ禁錮

第二編罪 第三十八章 横領ノ罪

ニ處ス仍ホ公權ヲ剽奪スルコトヲ得
本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

佛

第四〇八條 借受、委託、質入、借用ノ爲メ又ハ雇賃ノ有無ヲ問ハス人ノ用ヲ達スル爲メ人ヨリ動産
金銀、商品、手形、算遺ノ證書又ハ其他借受又ハ算遺ノ證書類ヲ受取リ後ニ之ヲ還シ又ハ示シ又ハ
定マリタル用法ニ之ヲ用フ可キ約ヲ爲シ其約ニ背キ此等ノ物件ヲ盜取シ又ハ消費シテ其所有者ニ
損害ヲ生セシメタル者ハ第四〇六條ニ記載スル刑ニ處ス

行政又ハ裁判官吏前項ニ記載シタル背信ノ罪ヲ犯シタルトキ又ハ僱婢雇人、弟子、書記、家僕、職
工、年期弟子其主人又ハ師ニ對シ其罪ヲ犯シテ損害ヲ生セシメタルトキハ徒刑場内ニ於テ使役ス
ル刑ニ處ス

但此規則ハ第二五四條、第二五五條、第二五六條ニ記載シタル公ケノ預リ所ニ藏スル金銀、動産、
證書類ヲ盜取掠奪スル罪ヲ罰スル規則ト相抵觸スルコトナシ

伊

第一六八條 官吏其職務ニ因リ管理、徵收若クハ監守スル金額其他ノ動産物件ヲ脱漏若クハ横領シ
タルトキハ無期公務ノ禁止及ヒ三年以上十年以下ノ懲役及ヒ三百「リール」以下ノ罰金ニ處ス其損
害ノ輕微ナルトキ又ハ裁判前損害高ノ全部ヲ賠償シタルトキハ其禁止ハ有期トシ一年以上五年以
下ノ懲役ニ處ス

第四一九條 職業、工業、商業、管理、職務上若クハ必要ナル寄託ノ爲メ交付セラレ又ハ委託セラレタ
ル物件ニ付キ前數條ニ記載シタル重罪ヲ犯シタルトキハ職權ヲ以テ一年以上五年以下ノ懲役ニ處
ス

蘭

第三二三條 必要ナル委託ノ名義ヲ以テ委託セラレタル物ノ占有者、後見人、管財人、管理人、遺言
執行者、慈善院長又ハ建設所長各其名義ニ由テ占有スル物ニ付キ横領ノ罪ヲ犯シタル者ハ五年
以下ノ禁錮ニ處ス

第二百五十四條

遺失物、漂流物其他占有ヲ離レタル他人ノ物ヲ横領シタル者ハ
一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

伊

第四二〇條 左ニ記載シタル者ハ被害者ノ告訴ヲ待テ一年以下ノ懲役又ハ五十「リール」以上千「リ
ール」以下ノ罰金ニ處ス
一、他人ノ遺失シタル物件ヲ發見シ遺失物ノ所有權取得ニ關スル民法上ノ規定ヲ遵守セスシテ横
領シタル者

二、埋藏物ヲ發見シテ土地ノ所有主ニ屬ス可キ物ノ全部又ハ幾分ヲ横領シタル者
三、錯誤又ハ偶然ノ由來事ニ因リ所持スル他人ノ物件ヲ横領シタル者
犯人横領シタル物件ノ所有者ヲ知リタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十五條

本章ノ罪ニハ第二百四十四條ノ規定ヲ準用ス

獨

第二四七條 親族、後見人、教育者ニ對シ竊盜若クハ横領ノ罪ヲ犯シタルトキ及ヒ徒弟其主人ニ對
シ又ハ家内ノ僱婢其雇主ニ對シ些少ノ價格ヲ有スル物件ヲ竊盜若ハ横領シタルトキハ告訴ヲ待テ
其罪ヲ論ス但告訴ハ之ヲ取下クルコトヲ得

尊屬親、其卑屬親ニ對シ又ハ配偶者ノ一方カ他方ニ對シ犯シタル竊盜若クハ横領ノ罪ハ之ヲ罰セ
 ス本條ニ掲ケタル關係ヲ有セサル共犯者又ハ犯罪庇護者ニハ本條ノ規定ヲ適用セス
 蘭 第三二四條 第三一六條ノ規定ハ(親族ノ犯罪ハ報告罪ト爲ス規定)ハ本章ニ特示シタル犯罪ニ之ヲ
 適用ス

第三十九章 贓物ニ關スル罪

第二百五十六條 贓物ヲ收受シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

贓物ノ運搬、寄藏、故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役及ヒ千圓以下
 ノ罰金ニ處ス

獨 第二五九條 犯罪ニ因リ得タル情ヲ知り又其狀況ニ因リ之ヲ知ラサル可カラサル物ヲ自己ノ利益ノ
 爲メ寄藏、故買シ又ハ典物トシテ收受シ其他之ヲ領得シ又ハ共ニ之ヲ販賣シタル者ハ隠私者トシ
 テ禁錮ニ處ス

第二六〇條 隠私ヲ營業トシ又ハ常習ト爲ス者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

佛 第六二條 重罪及ヒ輕罪ヲ犯シテ盜取又ハ竊取シタル物ノ全部又ハ一部ヲ藏匿シタル者ハ其重罪及
 ヒ輕罪ノ從犯トシテ處罰ス

英

一、重罪ニ該ル贓物ナルコトヲ知テ之ヲ收受シタル者ハ重罪ノ從犯ト爲シ首盜未ダ捕獲セスト雖モ
 五年以上十四年以下ノ徒罪ニ處シ又二年以下ノ入獄ニ處シ若クハ苦役及監牢ヲ加フ十六歳以下ノ
 者之ヲ犯ストキハ判事ノ適意ニ依テ打背罪ヲ加フ
 贓輕罪ニ該ル者ハ其贓物ヲ收受シタル者モ亦輕罪ニ處シ七年以下ノ徒罪ニ處シ又ハ入獄ニ處ス其
 法上ニ同シ

埃

第一八五條 竊盜又ハ監守盜ノ贓物ナルコトヲ知テ收受藏匿若クハ故買ヲ爲シタル者ハ竊盜若クハ
 監守盜ノ共犯トス

第一八六條

一、共犯者竊盜物若クハ監守盜物ノ價額及其犯爲ノ狀況ニ依テ竊盜若クハ監守盜ノ重罪ニ該ル可
 キコトヲ熟知セルトキ
 二、竊盜若クハ監守盜物ヲ數回收受藏匿又ハ故買ヲ爲シタルトキ其竊盜物ニ在テハ價格ヲ合計シ
 テ二十五「アルデン」其監守盜物ニ在テハ五十「アラデン」以上ナルトキハ該共犯者ハ六月以上
 一年以下ノ重徒刑ニ處ス但其價額計略及犯罪ヨリ生シタル損害ノ甚シキニ從ヒ五年ニ及フコ
 トヲ得

第一九六條

價額價項ノ物ト雖モ強盜物ナルコトヲ知テ之ヲ收受藏匿若クハ故買ヲ爲シタル者ハ強
 盜罪ノ重罪ト爲シ一年以上五年以下ノ重徒刑ニ處ス

伊

第四二一條 何人ヲ問ハス第二五條ニ記載シタル以外ノ場合ニ於テ犯罪ニヨリ得タル金額物件ヲ取
 得收受藏匿シ又ハ其犯罪ニ加功スルコトヲキモ或ル方法ヲ以テ其金額物件ヲ受得收取藏匿スルニ
 付キ媒介ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

第二編罪 第三十九章 贓物ニ關スル罪

其金額物件ニシテ五年以上ノ自由刑ニ該ル可キ重罪ヲ生スルトキハ犯人ヲ一年以上四年以下ノ懲役及百「リール」以上三千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

前數條ノ場合ニ於テ懲役ノ刑期ハ其重罪ニ科ス可キ本刑ノ半ニ過タルコトヲ得ス其財産刑ニ係ルトキハ第十九條ノ規定ニ從ヒ換刑ヲ爲シ刑ノ程度ヲ定ムルモノトス犯人贓物ノ收受ヲ常業トスル者ナルトキハ本條第一項ノ場合ニ在テハ三年以上七年以下ノ懲役ニ處シ第二項ノ場合ニ在テハ五年以上十年以下ノ懲役ニ處ス但何レノ場合ニ於テモ三百「リール」以下ノ罰金ヲ附加ス

第五〇五條 重罪及ヒ輕罪ヲ犯シテ竊取又ハ強取シタル物ノ全部又ハ一部ヲ藏匿シタル者ハ十五日以上五年以下ノ入獄ニ處シ二十六法以上五百法以下ノ罰金ヲ附加ス

仍ホ第三三條ノ權利剝奪ニ處シ且二年以上五年以下ノ監視ニ付スルコトヲ得

第五〇六條 本犯死刑若クハ終身懲役ニ該ル可キノ情ヲ知テ其財物ヲ藏匿スル者ヲ監役ニ處ス

第一二四條 贓物ヲ匿藏シタル者重罪ヲ犯スニ當リ加功ヲ要セスシテ之ヲ爲シ得可キ罪ニ加功シタルトキハ事後加功ノ重罪ノ刑ヲ以テ論スト雖モ其一等ヲ減ス

第一一六六條 竊盜又ハ其未遂罪ニ加功シタル者ハ其障害ヲ爲ス可キコトヲ怠リタル者及ヒ竊盜者ヲ藏匿シ又ハ竊取シタル物ヲ藏匿シタル者ハ左ノ刑ニ處ス

重罪ノ從犯ニ付刑法中或ル條例ニ規定シタル本旨ニ基キ處斷ス

第四一六條 收利ノ目的ヲ以テ贓物ヲ取得シ交換又ハ典物トシテ收受シ若クハ贈與物トシテ受諾シ又ハ藏匿シタル者ハ贓物藏匿ノ罪ヲ以テ論シ三年以下ノ禁錮ニ處ス

犯罪ニ因リ獲得シタル物件ヨリ故意ヲ以テ利益ヲ得タル者亦同シ

蘭

露

白

那

第四一七條 常業トシテ贓物ヲ取得シ交換又ハ典物トシテ收受シ若クハ贈與物トシテ受諾シ又ハ藏匿シタル者ハ六年以下ノ禁錮ニ處ス

仍ホ第二八條第一項乃至第四項ニ列記シタル權利ヲ剝奪シ且ツ其罪ヲ犯スニ至リタル職業ヲ營ムコトヲ禁止スルコトヲ得

第三一七條 竊盜、強盜、受寄盜ノ贓物ナルコトヲ知り又ハ之ヲ知ラサル可カラサルニ拘ラス自己又ハ他人ノ利益ノ爲メ其所有權質權又ハ使用權ヲ取得シ之ヲ藏匿寄藏消費讓渡又ハ質入ヲ爲サントシタル者又ハ其協力者ハ贓物藏匿ノ罪ト爲ス

第三一八條 贓物藏匿ノ罪ヲ犯シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス
贓物藏匿ノ目的物輕微ノ價額ヲ有スル物又ハ橫領シタル發見物ナルトキ又ハ前條ノ特別ノ減輕事由アルトキハ金刑ニ處スコトヲ得

常業トシテ贓物藏匿ヲ爲ス者ハ六月以上六年以下ノ禁錮ニ處ス
犯人既ニ贓物藏匿又ハ第一章、第一八章、第二四章乃至第二七章ノ罪又ハ第八八條、第一四七條、第二〇四條又ハ第二〇六條ノ罪ヲ犯シタルトキハ其刑一半以下ヲ加重シ既ニ數回此種ノ方法ニ依リ科刑セラレタルトキハ其刑ハ二倍ニ加重スルコトヲ得

第二百五十七條

直系血族、配偶者、同居ノ親族又ハ家族及ヒ此等ノ者ノ配偶者ノ間ニ於テ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

第四十章 毀棄及ヒ隱匿ノ罪

第二百五十八條 公務所ノ用ニ供スル文書ヲ毀棄シタル者ハ三月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

獨 第九二條 左ニ掲クル者ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

- 一、獨逸帝國若クハ聯邦國ノ他ノ政府ニ對スル權利ヲ害スル爲メ故意ニ其權利ニ關スル書類又ハ證憑ヲ破棄シ變換シ又ハ隱匿シタル者
- 二、獨逸帝國若クハ聯邦國ヨリ委託セラレタル國務ヲ行ヒ故意ニ其國ニ對シ損害ヲ與ヘンカ爲メ他ノ政府ト共ニ之ヲ行ヒタル者

減輕ス可キ情狀アルトキハ六月以上ノ禁獄ニ處ス

第一三三條 官ニ於テ其管掌ノ爲メ定メタル場所ニ保存シ又ハ官吏若クハ他人ニ職務上交付セラレタル文書帳簿證書其他ノ物件ヲ故意ニ破棄シ隱匿シ若クハ毀損シタル者ハ禁錮ニ處ス
前項ノ行爲カ利益ヲ得ントスルノ意ニ出テタルトキハ三月以上ノ禁錮ニ處ス尙公權ヲ剝奪スルコトヲ得

佛 第一三四條 公然揭示セル官廳又ハ官吏ノ布達、命令、處分若クハ告示ヲ故意ヲ以テ破棄シ毀損シ又ハ變換シタル者ハ三百馬克以下ノ罰金又ハ六月以下ノ禁錮ニ處ス

佛 第一三九條 官署ノ簿冊及ヒ證書類又ハ義務契約算還ヲ證スル商業又ハ銀行手形、爲替手形、證券ヲ故意ニ燒毀シ又ハ如何ナル方法ヲ論セス之ヲ滅盡セシメタル者ハ左ノ刑ニ處ス
官署ノ證書類又ハ商業又ハ銀行ノ證券ヲ滅盡セシメタル者ハ徒刑場内ニ於テ使役スルノ刑ニ處ス
其他ノ證書類ヲ滅盡セシメタル者ハ二年以上五年以下ノ禁錮ニ處シ百法以上三百法以下ノ罰金ヲ附加ス

伊 第二〇二條 何人ヲ問ハス官署ニ監守又ハ官ノ資格ニ因リ官吏ニ於テ監守スル罪體、證書類、公文ヲ脫漏、毀棄滅失又ハ變換シタル者ハ一年以上五年以下ノ懲役ニ處ス
職務ニ依リ罪體、證書類、公文ヲ監守スルノ任アル官吏自カラ此罪ヲ犯シタルトキハ無期公務ノ禁止及ヒ二年以上七年以下ノ懲役ニ處ス
其損害ノ輕微ナルトキ又ハ犯人ノ利益ヲ收受スルコトナク審判前ニ其證書類公文ヲ其儘返還シタルトキハ第一項ノ場合ニ在テハ六月以上三年以下ノ懲役ニ處シ第二項ノ場合ニ在テハ一年以上五年以下ノ懲役及ヒ有期公務ノ禁止ニ處ス

第二百五十九條 權利、義務ニ關スル他人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

獨 第二七四條 左ニ掲クル者ハ禁錮ニ處シ仍ホ三千馬克以下ノ罰金ヲ附加スルコトヲ得
第二編罪 第四十章 毀棄及ヒ隱匿ノ罪

一、他人ニ損害ヲ加ヘンカ爲メ自己ノ所有又ハ專有ニ屬セサル證書ヲ破棄シ毀損シ又ハ隠匿シタル者

伊 第二八三條 何人ヲ問ハス文書ノ正本又ハ法律ニ因リ正本ノ不足スルニ當リ之ニ代用ス可キ謄本ノ全部又ハ一部ヲ毀棄滅盡シ因テ公私ノ害ヲ生シ得キトキハ第二七五條、第二七七條、第二七九條、及ヒ第二八〇條ニ定メタル區別ニ從テ處斷ス

第二百六十條 他人ノ建造物又ハ艦船ヲ損壞シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

獨 第三〇三條 故意ヲ以テ不正ニ他人ノ物ヲ毀損シ又ハ破壞シタル者ハ千馬克以下ノ罰金又ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス
本條ハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス
親族ニ對シテ本條ノ罪ヲ犯シタルトキハ其告訴ハ之ヲ取下クルコトヲ得

第三〇五條 故意ヲ以テ不正ニ他人ノ建造物、船舶、橋梁、堤防、街道、鐵道其他ノ工作物ノ全部又ハ一部ヲ破壞シタル者ハ一月以上ノ禁錮ニ處ス

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

佛 第四三七條 何レノ方法ヲ論セス他人ノ建造物、橋梁、堤防ノ全部又ハ一部ヲ滅盡シ及ヒ崩潰セシメタル者又ハ蒸氣器械ヲ破裂セシメタル者ハ徒刑場内ニ於テ使役スル刑ニ處シ損失價高ノ四分ノ

一以下百法以上ノ罰金ヲ附加ス
因テ人ヲ死亡又ハ傷害ニ致シタルトキ其死ニ致シタルトキハ死刑ニ處シ人ヲ傷害ニ致シタルトキハ有期ノ徒刑ニ處ス

第三二〇條 何人ト雖モ他人ノ物ヲ毀損シ破壞シ及ヒ其他所有者ニ對シテ無價格ニ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千、フロリン以下ノ罰金ニ處ス

第三二三條 建造物、船舶、橋梁、堤防、築港、市街、鐵道其他他人ノ建造物ヲ全部又ハ一部ヲ破壞シタル者ハ一月以上ノ禁錮ニ處ス

伊 第四二四條 何人ヲ問ハス他人ノ動産若クハ不動産ヲ毀壞敗類、荒廢シタル者ハ被害者ノ告訴ヲ待テ六月以下ノ懲役又ハ禁獄及ヒ五百「リール」以下ノ罰金ニ處ス

左ノ場合ニ於テ此罪ヲ犯シタルトキハ職權ヲ以テ一年以上三年以下ノ懲役及ヒ三千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

一、官吏ノ職務ニ關シ報復ノ爲メニ犯シタルトキ
二、身體ニ對スル暴行又ハ第四〇四條第五項ニ記載シタル手段ヲ以テ犯シタルトキ
三、公ケノ建造物、公共ノ使用、公共ノ利益若クハ禮拜ニ供スル建造物ニ對シ又ハ第三〇五條ニ掲ケタル種類ノ建造物ニ對シ又ハ公ノ紀念碑墳墓若クハ其附屬物ニ對シ犯シタルトキ

第四二五條 官署ニ對シ暴行抵抗ヲ爲スノ際若クハ十人以上連合シテ前條ニ記載シタル罪ヲ犯スニ當リ右犯罪ノ加功者ハ第一項ノ場合ニ在テハ八月以下ノ懲役又ハ禁獄及ヒ千「リール」以下ノ罰金ニ處シ第二項ニ掲ケタル場合ニ在テハ二月以上四年以下ノ懲役及ヒ四千「リール」以下ノ罰金ニ處ス

ス但何レノ場合ニ於テモ職權ヲ以テ其罪ヲ問フモノトス

第三五〇條第一項 他人ノ物ノ全部又ハ一部ヲ故意且不法ニ損壞シ又ハ使用シ能ハサル狀況ト爲シ若クハ滅盡セシメタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第三五二條 故意且不法ニ他人ノ建造物又ハ船舶ノ全部又ハ一部ヲ破壞シ又ハ使用シ能ハサル狀況ト爲シタル者ハ四年以下ノ禁錮ニ處ス

第二九一條 他人ノ物ノ全部又ハ一部ヲ違法ニ毀棄又ハ其他ノ方法ニ依リ滅盡シタル者又ハ其協力者ハ罰金刑又ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

本條ノ罪ハ被害者ノ請求ヲ待テ之ヲ論ス但一般ノ福利上訴追テ必要トスルトキハ此限ニ在ラス

第二百六十一條 前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第一三五條 帝國又ハ聯邦國君主ノ公ケノ徽章又ハ聯邦國ノ國章ヲ奪取シ破壞シ汚損シ又ハ之ニ凌辱ヲ加ヘタル者ハ六百馬克以下ノ罰金又ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第二七四條 左ニ掲クル者ハ禁錮ニ處シ仍ホ三千馬克以下ノ罰金ヲ附加スルコトヲ得
第二、他人ニ損害ヲ加ヘンカ爲メ界標其他境界若クハ水平ヲ標示ス可キ物件ヲ奪取シ破壞シ不明ニシテ移轉シ又ハ偽設シタル者

第三〇四條 故意ヲ以テ不正ニ國內ノ教會ノ寶物、禮拜ノ爲メ奉獻セル物件、墓碑、公ケノ記念碑博物館ニ保存陳列セル學術技藝營業ニ關スル物件、公共ノ使用ニ供シ又ハ公道公園若クハ公共ノ建

設物ノ裝飾ニ供セル物件ヲ毀損シ又ハ破壞シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千五百馬克以下ノ罰金ニ處ス

禁錮ニ處スルトキハ公權ヲ剝奪スルコトヲ得

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二五七條 公ケノ利益又ハ裝飾ト爲ス爲メ官署ニ於テ建造シ又ハ官署ノ允許ヲ得テ建造シタル紀念ノ標識立像又ハ其他ノ物ヲ破壞シ打倒シ毀損シタル者ハ一月以上二年以下ノ禁錮ニ處シ百法以上五百法以下ノ罰金ヲ附加ス

第四四〇條 群集ヲ爲シ且公然暴行ヲ以テ物品、商品、證券動産類ヲ掠奪毀損シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處シ二百法以上五千法以下ノ罰金ヲ附加ス

第四四二條 前條ニ記載スル暴行ヲ以テ穀物、粗惡ノ穀物、穀粉、其他諸般ノ穀粉、麵包、葡萄酒、又ハ其他ノ飲料ヲ掠奪毀損シタル者ハ其暴行ノ首謀及ヒ挑發、煽動シタル者ヲ至重ノ有期徒刑ニ處シ第四四〇條ニ記載シタル罰金ヲ附加ス

第四四三條 物ヲ腐爛セシム可キ流動物ヲ用ヒ又ハ其他ノ方法ヲ以テ故意ニ商品又ハ製造品又ハ器具ヲ毀損シタル者ハ一月以上二年以下ノ禁錮ニ處シ十六法以上損害賠償高ノ四分ノ一以下ノ罰金ヲ附加ス

製造所ノ職工又ハ商家ノ使用人其罪ヲ犯シタルトキハ二年以上五年以下ノ禁錮ニ處ス但此規定ト前項ノ罰金ノ規定トハ相抵觸スルコトナシ

第四四四條 未タ刈取セサル穀類又ハ天生人工ノ草木類ヲ荒殘シタル者ハ二年以上五年以下ノ禁錮

第二編 罪 第四十章 毀棄及ヒ隱匿ノ罪

ニ處ス

仍ホ五年以上十年以下ノ監視ニ付スルコトヲ得

第四四五條 他人ニ屬スルコトヲ知リタル樹木ノ一根又ハ數根ヲ斫伐シタル者ハ其斫伐シタル樹木ノ每根ニ付キ六日以上六月以下ノ禁錮ニ處ス但其斫伐シタル樹木ノ數ノ多數ニ拘ラス五年以上ノ禁錮ニ處スルコトヲ得ス

第四四六條 樹木ヲ枯死セシムル目的ヲ以テ之ヲ傷害シ斫伐シ又ハ剝皮シタル者ハ其刑前條ニ同シ

第四四七條 接木一根又ハ數根ヲ傷害シタル者ハ其接木ノ每根ニ付キ六日以上二月以下ノ禁錮ニ處ス但接木ノ數ノ多數ニ拘ラス二年以上ノ禁錮ニ處スルコトヲ得ス

第四四八條 街衢、道路、市街往還、小路、傍徑ニ植エタル樹木ヲ斫伐シ又ハ傷害シタル者ハ第四四五條及ヒ第四四六條ニ記載シタル場合ニ於テハ至輕ノ刑ヲ二十日トシ第四四七條ニ記載シタル場合ニ於テハ至輕ノ刑ヲ十日トス

第四五一條 農業ノ器具、獸園看守人ノ小舎ヲ破壊シタル者ハ一年以上一年以下ノ禁錮ニ處ス

第四五二條 馬又ハ車ヲ挽カシメ若クハ騎行ノ用ニ供シ若クハ物ヲ負載スル用ニ供スル獸類又ハ牛、羊、山羊、豚又ハ池沼ニ養フ魚ニ毒物ヲ與ヘタル者ハ一年以上五年以下ノ禁錮ニ處シ十六法以上三百法以下ノ罰金ヲ附加ス

仍ホ二年以上五年以下ノ監視ニ付スルコトヲ得

第四五三條 已ムテ得サルニ非スシテ前條ニ記載シタル獸類ノ一ヲ殺シタル者ハ左ノ刑ニ處ス

獸類ヲ蓄ヒ置キタル者ノ所有シ又ハ借受ケタル家屋又ハ繞園ヲ爲シタル場所又ハ其所屬ノ場所又

ハ土地内ニ於テ此輕罪ヲ犯シタルトキハ二月以上六月以下ノ禁錮ニ處ス犯人ノ所有シ又ハ借受ケタル場所ニ於テ此輕罪ヲ犯シタルトキハ一月以上六月以下ノ禁錮ニ處ス

前二項ニ記載シタル以外ノ場所ニ於テ此輕罪ヲ犯シタルトキハ十五日以上六週以下ノ禁錮ニ處ス

何レノ場合ニ於テモ牆壁ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯シタルトキハ其刑中ノ至重ノ刑ニ處ス

第四五四條 已ムテ得サルニ非スシテ家畜獸ヲ蓄ヒ置キタル者ノ所有シ又ハ借受ケタル場所ニ於テ其畜類ヲ殺シタル者ハ六日以上六月以下ノ禁錮ニ處ス

牆壁ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯シタル者ハ其刑中ノ至重ノ刑ニ處ス

第四五五條 第四四四條乃至第四五四條ノ場合ニ於テハ十六法以上損害賠償高ノ四分ノ一以下ノ罰金ヲ附加ス

第四五六條 溝渠ヲ埋メ又ハ牆壁ノ如何ヲ問ハス之ヲ破壊シ又ハ植籬又ハ編籬ヲ毀損シ又ハ拔採シタル者又ハ土地ノ徑界ヲ表シタル物件若クハ石又ハ其經界ヲ表シタル材木又ハ徑界ヲ表シタル材木ヲ移動シ又ハ毀棄シタル者ハ一年以上一年以下ノ禁錮ニ處シ損害賠償高四分ノ一ノ罰金ヲ附加ス但其罰金ハ何レノ場合ニ於テモ五十法以上トス

伊 第三〇四條 故意ニ不法ニ國內ノ教會ノ寶物、禮拜ノ爲メ奉獻セル物件、墓碑、公ケノ紀念碑、博物館ニ保存陳列セル學術技藝營業ニ關スル物件ノ公共ノ使用ニ供シ又ハ公道公園若クハ公共ノ建設物ノ裝飾ニ供セル物件ヲ毀損シ又ハ破壊シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千五百馬克以下ノ罰金ニ處ス

禁錮ニ處スルトキハ公權ヲ剝奪スルコトヲ得

本條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

蘭 第三五一條 那 第二九二條、第二九三條

第二百六十二條 自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シタルモノヲ損壞又ハ傷害シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

第二百六十三條 他人ノ信書ヲ隱匿シタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五十圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百六十四條 第二五九條、第二六一條及ヒ前條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

壞 第三二四條 毀棄ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但第三二二條及第三二四條ニ記載シタル物件ニ關スル

場合ハ此限ニ在ラス

伊 第四二四條第一項 何人ヲ問ハス他人ノ動産若クハ不動産ヲ毀壞敗類荒廢シタル者ハ被害者ノ告訴

ヲ待テ六月以下ノ懲役又ハ禁錮及ヒ五百「リール」以下ノ罰金ニ處ス

舊刑法(明治十三年七月十七日)抄録

「左ニ記載シタル舊刑法ノ規定ハ當分ノ内刑法施行前ト同一ノ效力ヲ有ス(刑法施行法第二十五條)」

第二篇

第四章

第九節 公選ノ投票ヲ偽造スル罪

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以上以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條 投票ヲ検査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第五章

第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スコトヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他處ニ出テタル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
第二百四十九條 獸類傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル

者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三篇

第二章

第四節 家資分散ニ關スル罪

第三百八十八條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又ハ虛偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

情ヲ知テ虛偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十九條 家資分散ノ際帳簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一年以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

比較刑法終

大正十二年二月廿五日印刷
大正十二年三月八日發行

比較刑法與附
定價金參圓
上製五十錢增



編輯者 小齋 甚治 郎

發行者 葉多野 太兵衛

印刷者 金子 久太郎

印刷所 株式會社 行政學會印刷所

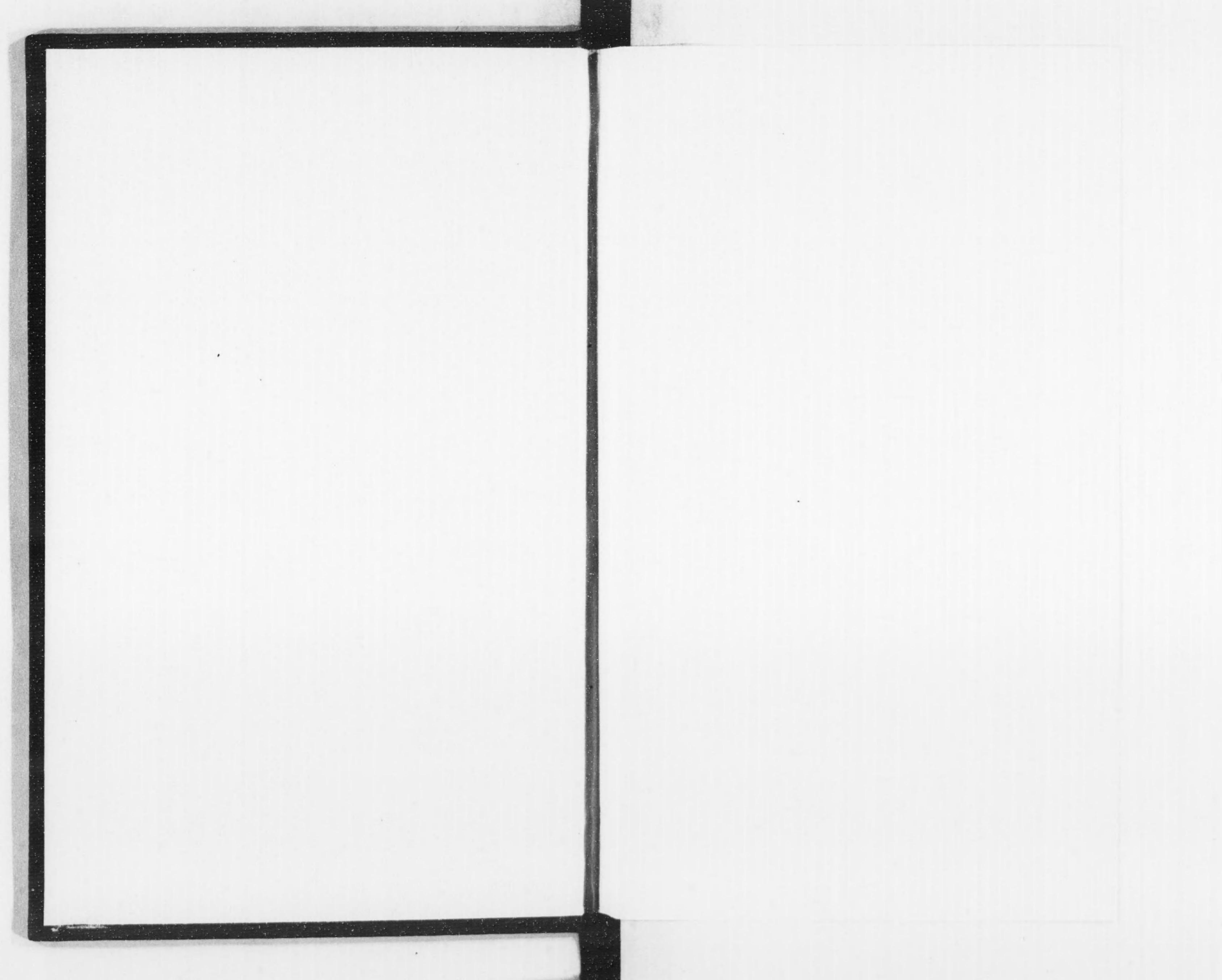
東京市神田區今川小路二丁目四番地

發行所

清水書店

電話 九段五七七・五七八
振替 東京七四四七

12/14-27



終